

平成29年7月11日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成29年7月11日(火) 11:20~12:40
- ・会場 富士見高原リゾート(株)
- ・参加グループ ユニバーサルフィールドづくり実行委員会
- ・懇談内容 ユニバーサルツーリズムの推進及びトラベルサポーターの養成について

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) 地域トラベルサポーターの育成について

(ご意見の概要)

老人ホームの職員を対象に、地域トラベルサポーターの資格制度を作った。高齢者等と共に旅をすることにより職員の資質が上がり、その経験が職場でも活かされている。地域トラベルサポーターになる人材をどう確保するのが問題。

長野県は山岳高原地域であり観光資源を活かしつつ障がいのある方やその同伴者にどう楽しんでもらえるか。県であれば、観光と福祉が連携できると思う。

(知事の発言)

施設中で介護するばかりが介護士の仕事だとは思わない。最近の高齢者等のニーズは、国が決めた介護制度の範疇に留まらないし、地域トラベルサポーターのような介護者がいれば家族も助かると思う。

(ご意見等に対する対応状況)

障がい者や高齢者など誰もが安心して楽しめる観光地域づくりを進める上で、地域トラベルサポーターの魅力と役割について、連携しながら情報発信を図ってまいります。

【担当課：観光部観光誘客課】

障がいの特性や必要な配慮を理解して、障害のある方に対してちょっとした手助けを行う「信州あいサポート運動」を推進しており、観光地を訪れる障がい者に対しても適切な配慮がなされるよう、引き続き運動の普及啓発及び手助けを実践する「あいサポーター」の養成に取り組みます。

【担当課：健康福祉部障がい者支援課】

(2) ユニバーサルツーリズムの推進について

(ご意見の概要)

信州大学と一緒に「ユニバーサルツーリズムとインクルーシブ教育に関わる研究所」を立ち上げます。障がい者の方々が、自然の中で、アクティビティやスポーツ楽しむために、今後、我々のノウハウや技術を生かしたフィールドの調査研究を活かして、ユニ

バーサルの相談窓口、ユニバーサルコンシェルジュのようなものを県庁に置いてもらえればありがたい。

また、今まで自宅待機していた障がいのある子供達が、HIPPO（アウトドア用車椅子）やJINRIKI（けん引式車いす補助装置）が施設に導入されることによって、クラスの子と一緒に野外活動に参加できる。県であれば、教育と福祉が連動していくことも可能であり実践できるのではないかと。

(知事の発言)

信州大学と一緒にやる研究は県も絡んだほうが良いと思う。教育委員会と健康福祉部と観光部と一緒にやっていくのが良いのではないかと。

(ご意見等に対する対応状況)

「ユニバーサルツーリズムとインクルーシブ教育に関わる研究所」については、県としても参加しながら、検討してまいります。また、ユニバーサルツーリズムの推進についても、関係機関と連携しながら検討してまいります。

【担当課：観光部観光誘客課】

ユニバーサルフェスの開催案内を障がい者関係団体に対して配布し周知するとともに、保健福祉事務所福祉課へ情報提供しました。

現在、地域発元気づくり支援金によりJINRIKIの講習会等に対する補助をしておりますが、機器導入の補助については、今後検討してまいります。

【担当課：健康福祉部障がい者支援課】

インクルーシブな教育を推進していく一つの取組として、ユニバーサルツーリズムのノウハウを生かし、障がいのある子もない子も共に野外活動等を実施できるようにしていくことは大変意義あることと考えます。こうした情報をニーズのある学校や支援者に提供していきたいと考えます。

【担当課：教育委員会事務局特別支援教育課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp